

進化経済学会ニュースレター No. 8

May 2000

進化経済学会事務局

606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部気付

URL://www.econ.kyoto-u.ac.jp/societies/evolution

Tel.075-753-3427/3455 Fax:075-753-3492 e-mail:yagi@econ.Kyoto-u.ac.jp

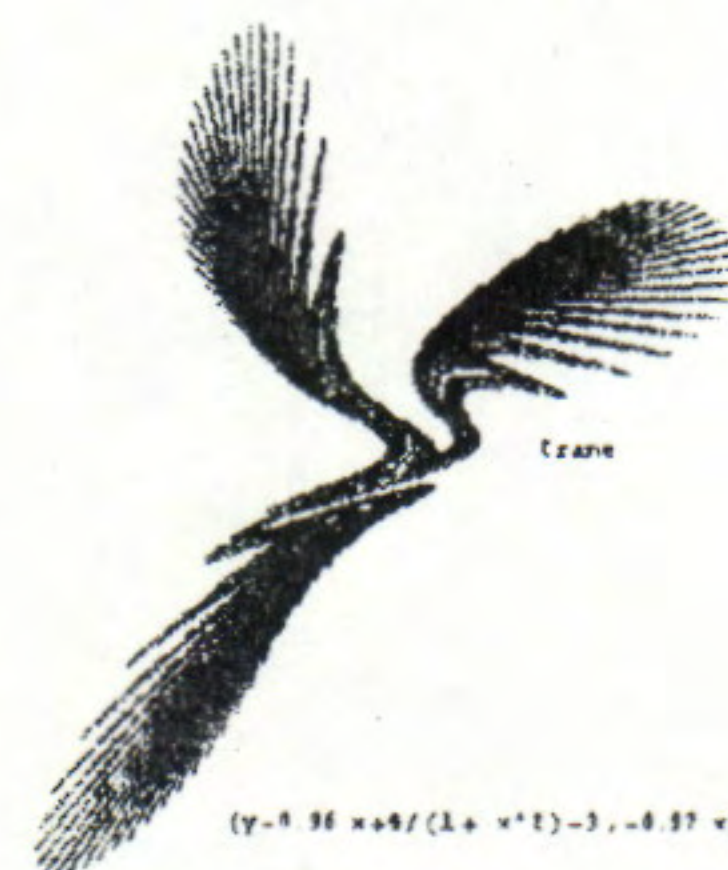
郵便振替口座：01030-1-22493 (進化経済学会)

国際化と多様化のなかの進化経済学 次回大会は福岡で

3月25-26日に中央大学駿河台記念館でおこなわれた第4回大会は、日本語セッションでの36研究報告、英語セッションでの34研究報告、そして4人のゲスト・スピーカーによるプレナリートーク、さらにU-Martセッション、パネル討論セッション(英語)、ポスターセッション(参加22件)という盛沢山の内容でおこなわれました。参加者も200人を超えましたが、演壇に立った人も100人近いでしょう。個人として見たり聴いたりして掌握できる範囲を超えています。『大会報告集』やポスターセッション要旨掲載ホームページなどで、補うこともできるでしょう。URLは以下のところす <http://yoriu.scitec.kobe-u.ac.jp/~yoshi/index.html>。

今回の大会は「21世紀の学融合」を掲げておこなわれましたが、国際セッションで取り上げられたテーマが数理的方向に焦点をあてていたこともあって、英語セッションへの参加者と日本語セッションへの参加者が分離する傾向があったことは否定できません。それでもプレナリートークは非数理的方向の研究者にも向けられたもので、会場での違和感も無かったように思われます。英語使用についても、開会の際には会長が、閉会の際には副会長が英語でスピーチをおこない、日本の学会の国際化も本格的になったという印象を受けました。

ニュースレターの本号に会長が「提言」をされていますが、副会長の閉会のスピーチにも共通した



東京大会エンブレム?

	D12	<u>カオスの選好仮説：カオスをメタファーとした動的選好理論へのマニフェスト</u>	井庭崇 (慶應義塾大学 政策・メディア研究科)
3 月 2 6 日 (日)	N1	<u>局所的相互作用としての信頼行動からの協調行動発生</u>	佐藤 尚 (北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科)/橋本敬 (北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科)
	N2	<u>「本質的」不完全情報下でのノルムの形成と共有</u>	江頭 進 (小樽商科大学)/橋本敬 (北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科)
	N3	<u>Dynamical View of Language and Dynamical Systems Approach 動的言語観と言語への力学系アプローチ</u>	橋本敬 (北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科)
	N4	<u>Boxed Economy：リアリティのある経済モデルへ</u>	井庭崇(慶應義塾大学 政策・メディア研究科)/廣兼賢治 (慶應義塾大学 環境情報学部)/高部陽平 (慶應義塾大学 環境情報学部)
	N5	<u>不可逆性と不再帰性 -ジョージesk=レーゲンの生産過程論 -</u>	金子裕一郎 (一橋大学大学院 経済学研究科)/菅原 進 (電気通信大学 大学院情報システム学研究科)
	N6	<u>ランダム行動に基づく経済淘汰</u>	富澤拓志 (京都大学経済学部研修員)
	N7	<u>貨幣交換の創発</u>	長谷川敦士 (東京大学大学院総合文化研究科)/植田一博 (東京大学大学院総合文化研究科)
	N8	<u>Neural Network function applied for Consumption (ニューラルネットワーク型消費関数の提案と推計)</u>	広兼 賢治 (慶應義塾大学 環境情報学部)
	N9	<u>動的認識システムを用いた3人結託ゲームのシミュレーション</u>	森本 元太郎 (東京大学総合文化研究科)
	N10	<u>円の国際化</u>	武村 正義 (大阪市立大学)

第4回会員総会報告

1. 進化経済学会の第4回会員総会は、2000年3月26日午後2時から3時にかけて、中央大学駿河台記念館281号室で開催された。
2. 議長には、理事会の推薦により、山脇常任理事が選出された。
3. 瀬地山会長の挨拶のあと、岡村選挙管理委員長から昨年6-7月におこなわれ第7回理事会に報告され、ニューズレター No.7で会員に伝達済みの選挙結果について報告があり、承認された。これにより、第II期の会長・副会長・理事の就任が有効となった。
4. 瀬地山会長から、24,25の両日に新旧理事合同で理事会をおこない、第I期の総括と第II期の準備をおこなったことが説明された。引き続き、この会合で選出された10常任理事と2監査委員のリストが示され、承認された。[別記新役員名簿参照]
5. 第7回理事会で入会審査を受けた14名、第8/9回理事会で入会審査を受けた14名、計28名の入会が承認された。なお、第7回理事会で報告された退会は8個人会員と1団体会員、第8/9回理事会で報告された退会は19個人会員である。また、入会意思確認の不備や誤記の判明による名簿からの削除を考慮した上で、2000年4月1日には個人会員総数599名（うち会費上の院生扱者111名）、賛助会員2団体になると報告された。
6. 平成10(1998)年度決算が、監査委員の報告とともに提出され承認された。平成11(2000)年度については、3月17日現在での収入・支出・資産状況が説明された。近日中にできあがる予定の学会出版物につ

いては、平成11年度予算から支出される。平成12(2000)年度の予算案が承認された。

[別記会計資料はニューズレターに掲載]

7. 第4回大会の26日13時現在の出席登録状況が、会員155名、非会員51名、海外参加者19名、総計225名となっていることが有賀大会運営委員長から説明された。プログラムに記載された報告はみな順調に進行していて、ポスターセッションも24件のぼっている。瀬地山会長から、海外参加者を交えた英語セッションも含め、内容豊かな大会を優れた設備の会場で開催できたことへの謝辞が述べられた。
8. 第5回大会は、岡村常任理事を責任者とし、磯谷次期常任理事、平野次期理事を委員とする委員会によって、来年3月30-31日(金土)に九州産業大学でおこなわれる。磯谷次期常任理事から、本年9月9日(土)に同大学でおこなわれるオータム・コンファレンスと翌日おこなわれる刊行物の討論会の企画案について説明があった。
9. 八木常任理事から、編集委員会の報告があった。シュプリングer・フェアラク東京から『ゲネシス進化経済学 方法としての進化』が「進化経済学会・塩沢由典編」として近日中に刊行される。また、有賀委員が今回の学会の英語セッション関連の英文出版の編集にあたっており、八木委員がロシアや東アジアでの動向も視野にいれて『ゲネシス進化経済学』の第2冊の企画・編集にあっている。さらに、第II期への移行に対応して、現在の3名(塩沢・有賀・八木)に加えて、出口弘、西部忠、植村博恭、吉田雅明、依田高典の5会員を委員に加える。
9. 九州地方部会、非線形問題研究部会、

制度の政治経済学部会、現代日本の経済制度部会の活動について、第 8/9 理事会への報告にもとづき、事務局理事から要約的に報告された。

10. 略称として用いている JAFEE が、他の学会の呼称とかちあっている問題については、理事会はなお検討中であると報告された。

11. 学会の対外関係について、昨年 12 月にソウルの進化経済学研究グループとの交流をおこなったこと、ICARE（経済学改革のための国際連合）のオブザーバーとなっていること、アメリカの AFEE との会員宛郵送シールの交換をおこなったことが報告された。また、商業出版社からの会員対象の広告・宣伝などの希望についても、書籍購入・雑誌購読などで会員にとってのメリットが大きければ対応することになっている。

*** 第 II 期 新役員 ***

[会長] 瀬地山敏

[副会長] 塩沢由典

[理事] 有賀裕二（常任理事）、浅田統一郎、出口弘、海老塚明、長谷川真理子、平野泰朗、平山朝治、弘岡正明、池上惇、磯谷明德（常任理事）、金子勝、川勝平太、児玉文雄、三土修平、宮本光晴（常任理事）、室田武、根岸隆、西部忠（常任理事）、西山賢一、岡村東洋光（常任理事）、酒井泰弘（常任理事）、清水耕一、塩野谷祐一、杉浦克己、鈴木興太郎、植村博恭、宇仁宏幸、八木紀一郎（常任理事・事務局）、山田鋭夫（常任理事）、山脇直司、吉田和男（常任理事・事務局）、吉田雅明

[監査委員] 富森虔児、澤辺紀生

第 8 回・第 9 回理事会（第 II 期第 1 回・第 2 回理事会）報告

1. 進化経済学会第 I 期第 8 回の理事会は、2000 年 3 月 24 日午後 5 時から 8 時にかけて、中央大学駿河台記念館 360 号室で開催された。今期役員のうち、会長、12 理事、1 監査委員が出席、11 理事が議長宛て委任状を提出、1 監査委員も委任状を提出した。

2. 選挙結果が会員総会で承認されれば第 II 期理事となる 32 会員のうち、18 会員が出席、同じく 6 会員が議長宛て委任状を提出、また会長・副会長就任予定会員も出席した。

3. まず、会長から、昨年おこなわれ、第 7 回理事会でその結果が報告された第 II 期役員選挙によって新理事に選出された会員にも出席を要請し、今回の理事会が新旧合同の理事会としてもみなしうることになっていることが説明された。会長は、今回の理事会を合同の理事会として進行させ、新役員体制などの新理事会の権限にかかわる事項については、要望次第で新理事のみで審議しうることにはしたいと提案し了承された。

[3 月 26 日の会員総会で、選挙結果とあわせて、任期到来前の会合によって第 II 期へ移行する方式が承認されたので、この 24 日の会合を第 II 期の第 1 回理事会とみなせることになった。]

4. 前項の了解にもとづき、新理事名簿が示された。新旧理事会を分離しておこなうという要望がなかったため、そのまま続行し、次期会長でもある瀬地山会長がそのなかから、有賀裕二、海老塚明、磯谷明德、宮本光晴、西部忠、岡村東洋光、酒井泰弘、八木紀一郎、山田鋭夫、吉田和男を次期常

任理事の候補として推薦した。この10理事が、異議なく常任理事として選出された。また、現監査委員の富森虔児、澤辺紀生会員に引き続き監査委員を委嘱することとした。学会事務局は当面、八木、吉田の2常任理事が（継続）担当する。

5. 第7回理事会以降、19名の退会者と1名の名簿削除があったことが事務局担当理事から報告された。退会者数が多いのは、自発退会の選択肢をも示唆しながら滞納会費の請求をおこなったためであろうと説明された。名簿削除は、入会意思確認の不備によるものである。入会申込者11名について資格審査がおこなわれた。うち今次大会で報告する2会員については、1999年度に入会したものとみなす。

6. 平成10(1998)年度決算が、監査報告とともに提出され了承された。平成11(2000)年度会計について、3月17日現在の収入・支出・資産状況が説明された。近日中にできあがる予定の学会出版物については、平成11年度予算から支出するという前提のもとで作成された平成12(2000)年度の予算案が事務局から提出され、承認された。

7. 第4回大会の準備状況が、有賀大会運営委員長から説明された。来年3月30-31日(金土)に九州産業大学でおこなわれる第5回大会について、岡村常任理事(大会実行委員長)から説明され、本年9月9日(土)に同大学でおこなわれるオータム・コンファレンスについて磯谷(新)理事から説明があった。塩沢理事(次期副会長)から翌10日に刊行物をめぐる討論会をしたらどうかという提案があり、それも考慮することになった。

8. 塩沢常任理事から編集委員会の報告があった。シュプリンガー・フェアラク東京から『ゲネシス進化経済学 方法としての進化』が「進化経済学会・塩沢由典編」として近日中に刊行される。また、有賀委員が今回の学会の英語セッション関連の英文出版の編集にあたっていること、八木委員がロシアや東アジアでの動向も視野にいれて『ゲネシス進化経済学』の第2冊の企画・編集にあたっていることが説明された。さらに、第II期への移行に対応して、現在の3名(塩沢・有賀・八木)に加えて、出口弘、西部忠、植村博恭、吉田雅明、依田高典の5会員を委員に加えて編集委員会を充実させることが承認された。

9. 九州地方部会、非線形問題研究部会、制度の政治経済学部会、現代日本の経済制度部会から、それぞれ文書を付した活動報告があった。

10. 略称として用いているJAFEEが、他の学会の呼称とかちあっている問題については、なお検討を続けることとなった。

11. 学会の対外関係について、昨年12月にソウルの進化経済学研究グループとの交流をおこなったこと、ICARE(経済学改革のための国際連合)のオブザーバーとなっていること、アメリカのAFEEとの会員宛郵送シールの交換をおこなったことが報告された。また、商業出版社からの会員対象の広告・宣伝などの希望についても、書籍購入・雑誌購読などで会員にとってのメリットが大きければ対応したいという事務局の考えが示され、承認された。

12. 第I期の学会活動についての評価と反省や、大会のプログラム編成(報告のセレクションの強化)などについての発言が、

数名の理事からあった。

13. 第9回の理事会が、翌日(3月25日12時から1時、同駿河台記念館500号室)で開催された。第I期理事会としては、13理事出席、9理事委任状提出、会長、1監査委員が出席した。(第II期第2回の理事会としては、20理事出席、6理事委任状提出、会長、副会長、1監査委員が出席。)
14. 入会申込者3名の資格審査をおこなって、会員総会に提出するリストに加えることとした。うち今次大会で報告する1名は、1999年度からの会員とする。
15. 会員総会の議長として、山脇常任理事を推薦することとした。
16. 塩沢常任理事(次期副会長)から、関係している北陸先端科学技術大学院大学お

よび計測・自動制御学会の共催で、「複雑経済システム・展望シンポジウム」を本年9月上旬頃に開催する計画が示され承認された。これは、エージェントベース・シミュレーションによる経済システム研究者を育てることを目的とし、2つの学会にとっては会員向けの「サマー・スクール」として位置づけられる。学会からの経費面の負担は要請されていないが、部会なみの補助は必要に応じて支出しうることが了承された。

17. 最後に、瀬地山会長(次期会長)から、第I期の学会役員を勤められた会員への謝辞が述べられた。

*****ニューズ*****

* **U-Mart 着々構築中!**

オンラインで株式の仮想売買する市場を構築し、プログラムによる参加、勘ピューターによる参加を含めて、市場の作動様式を研究するプロジェクトです。第4回東京大会でもセッションでの討論とデモンストレーションがおこなわれましたが、さらに4月7日に大阪市立大学で外部ネットワークからの通信実験を行い、見事成功しました。現在、多くの人の参加を得るために簡単なガイドブックを作成中です。このプロジェクトのメーリングリストは京大経済学部の松井研究室に管理が移行しましたので、関心のある方は以下のアドレスにご連絡ください。
(u-mart-ml@u-mart.econ.kyoto-u.ac.jp)

*****ニューズ*****

* **制度の政治経済学部会**

5/20(土) 午後2時から5時 京都烏丸三条河合塾京都校

瀬地山敏「進化経済学の可能性」、萩原泰治「グローバルな投下労働量の計測」

6/24(土) 午後2時から5時 京都烏丸三条河合塾京都校 ホリングワース/ボワイエ編著長尾伸一編訳『制度の政治経済学』

(近刊) 書評会: 書評者 海老塚明、他1名、政治学研究者

さらに、6月以降、京都大学経済研究所の客員となって8月まで滞在される Robert Boyer のワークショップ、同志社大学の室田武会員の「貨幣の進化」論などを予定しています。URL は <http://www.e.okayama-u.ac.jp/~shimizu/pecopis.htm> です。

* **九州地方部会**

5/27 (土) 午後1時半から九州産業大学経済学部会議室(1号館9F)にて

JR 鹿児島本線各駅停車列車にて「九州産業大学前」下車

小野隆弘「都市ごみ管理における民営化と公共性の再構成」

岩下伸朗「マーシャル経済学の進化論的特徴とその構成」

* **複雑経済システム展望シンポジウム**

北陸先端科学技術大学院大学の企画に「計測・自動制御学会」とともに協力する形で「サマースクール」型の数日間の宿泊シンポジウムを開催することが企画されています。関心のある方は、塩沢副会長に連絡してください。

* **経済物理学の展望：金融変動に対する
実証科学的アプローチ（日本経済新聞社主催）本学会も後援！**

オーガナイザー：高安秀樹、清水季子・宇野淳・H.E.Stanley 招待講演者：H.E. Stanley, R. Mantegna, M. Ausloos, Y. Zhang, M. Feigenbaum

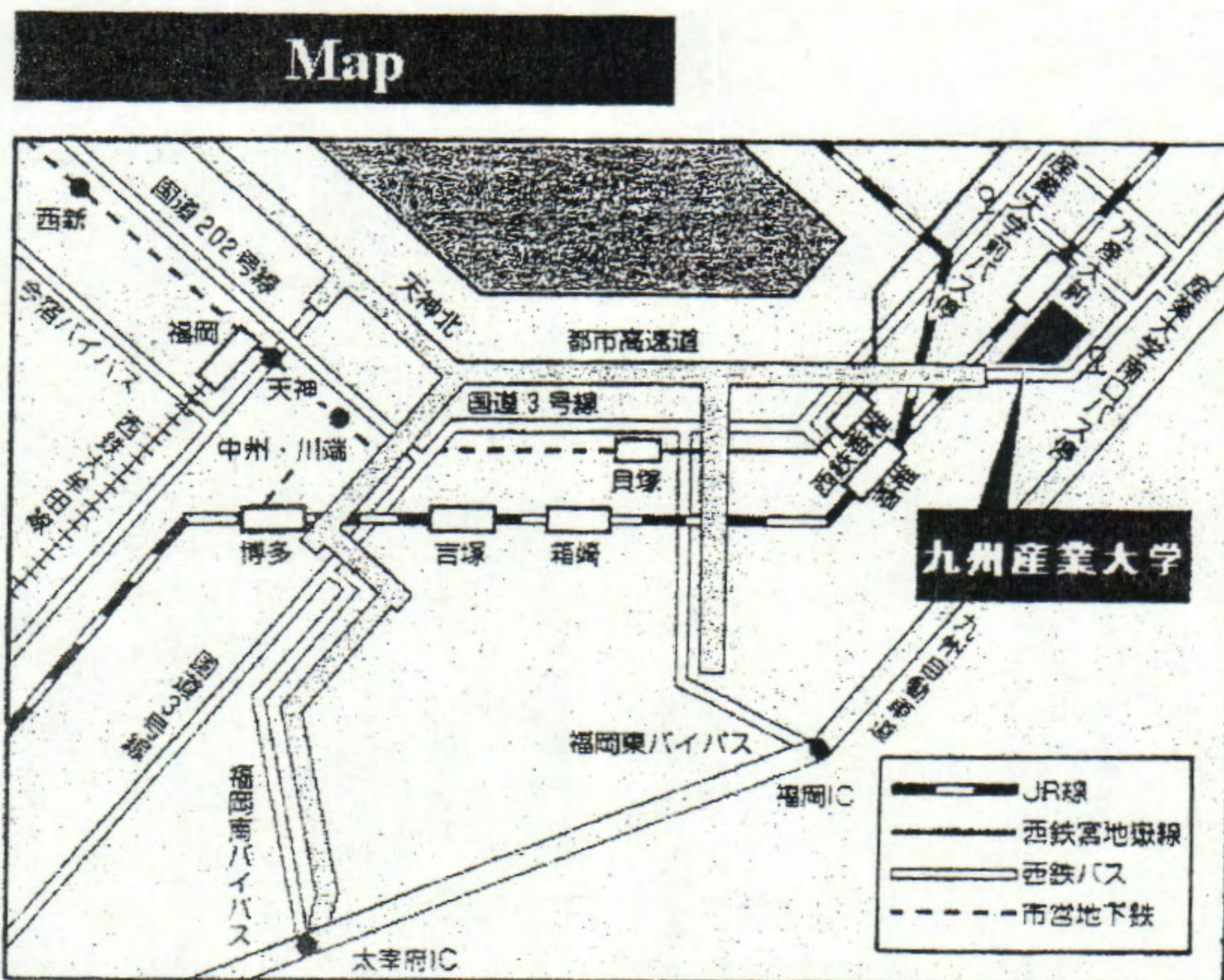
「本研究会は、金融変動の実データを物理学の視点で解析する新しい科学の分野である経済物理学の研究者と金融の専門家が一堂に会し、実証的に経験則を洗い出すことによって金融変動に対処するための科学的な基盤を築くことを目的として企画されています。」（「開催趣旨」より）

11/15-17日 参加者限定研究会

11/17(金) 午後2時から5時 公開シンポジウム

研究発表応募は6月30日まで。

<http://web.nikkei-r.co.jp/pfa> を参照してください。



本学への交通

JR鹿児島本線
博多駅から「九産大前」駅まで約15分

西鉄バス
天神バスセンターから「産業大学南口」まで約15分
福岡空港から「産業大学南口」まで約15分

九州産業大学経済学部

(福岡市東区松香台2-3-1)

会 員 名 簿 訂 正 (訂正事項のみ記載)

足立泰紀 近畿福祉大学 adachi@kinwu.ac.jp 馮銳 G:大阪市立大学大学院経済学研究科
〒606-8357 京都市左京区聖護院蓮華町36の3コーポシロー31号 T:090-9863-6088

原田裕治 名古屋経済大学・経済学部 harada@nagoya-ku.ac.jp 久本憲夫 〒520-0225 大
津市清風町38の2 依田高典 〒606-8501 京都市左京区吉田本町京都大学経済学研究科
ida@econ.kyoto-u.ac.jp 池尾愛子 早稲田大学商学部 aikoikeo@mn.waseda.ac.jp

加地直樹 〒060-0010 札幌市東区北10条東1丁目2の1 藤井ビル北10条302号
T:011-742-7538 河野善文 道都大学 〒003-0026 札幌市白石区本通17丁目南8の27
GRAND VIEW 603 三土修平 東京理科大学理学部 〒154-0002 東京都世田谷区下馬6
の23の7 T:03-3421-6787 長尾伸一 〒464-0814 名古屋市千種区不老町名古屋大学経済学
部 XLW07036@nifty.ne.jp 中島義裕 G:京都産業大学経済学部特別研究員 〒603-8012
京都市北区上賀茂葵田町1 神山グリーンハイツ T:090-1907-4005
yoshina@cc.kyoto-su.ac.jp 中山智香子 〒114-0024 東京都北区西ヶ原4の51の21
東京外国語大学地域文化研究科 T:03-5974-3603 nakac@fs.tufs.ac.jp 徐龍燮 〒615-0061
京都市右京区西院乾町70の1 ジェミニビル305号 T:075-711-2640 瀬地山敏 関西大学
社会学部 e-adress は当面そのまま 塩野谷祐一 国際医療福祉総合研究所 e-address 廃止

杉浦克巳 sugiurak@sannet.ne.jp 田畑理一 QZM10231@nifty.ne.jp 田畑稔
mnrtabata@wombat.or.jp 高哲男 〒818-0061 筑紫野市大字紫5の10の2 高橋一郎 〒
192-0919 八王子市七国6の15の15 t/f:0426-35-8157 高藪学 〒203-0011 東久留
米市大門町2の3の6の105 T:042-329-7413 上杉孝實 龍谷大学文学部 山田鋭夫
〒464-0804 名古屋市千種区東山元町2の71の305 山本英司 619-0232 京都府相楽郡精華
町桜ヶ丘3の34の33 eyamamo2@ip.media.kyoto-u.ac.jp 山本耕 〒601-1338 京都市伏見
区醍醐落保町53 T:075-573-0086 ko@yamamoto.office.ne.jp 山森亮 東京都立大学人
文学部 〒190-0012 立川市曙町1の8の13の401 T:042-523-9663 持元江津子 G:
京都大学大学院経済学研究科

退会者：浜矢浩司、長谷川三千子、東正彦、
平井聖司、石橋貞男、加藤一郎、桂木建次、
金城功明、小林路義、正木八郎、新岡智、
野田宣雄、坂本信雄、恒松伸、内木哲也、
渡部福太郎、渡辺哲陽、山本伊佐夫、
吉井伸一郎

物故者：安部琢哉（東正彦さんとともに、
カリフォルニア湾で遭難）



入会希望者名簿(第八回理事会資料用)

会員氏名 〒 会員番号	所属 郵送先 部会等その他特記事項	電話 e-mail 推薦者名
Ebina, Ichiro 海老名 一郎 606-8101 00632	G: 京都大学経済学部博士課程 京都市左京区高野蔭原67 泰和装西離れ 組織編成と協力パターンの関係	075-703-9716 ebina@mbox.kyoto-inet.or.jp 吉田和男・徳丸宜徳
Fukase, 深瀬 澄 582-0025 00639	大阪経済法科大学経済学部 柏原市国分西1-2-24シルクハイツ703 地域経済、ニューラルネットワーク	090-3849-0053 fukase@keiho-u.ac.jp 塩沢由典・海老塚明
Hashimoto, Fumihiko 橋本文彦 558-0022 00638	大阪市立大学経済学部 大阪市住吉区杉本3-8-188 大阪市立大学経済学部	塩沢由典・海老塚明
Hirano, Koichi 平野 耕一 262-0018 00640	G: リバプール大学 千葉市花見川区畑町662-140 内部観察と経済分析への応用	043-271-8952 koichi@csc.liv.ac.uk 吉田和男・八木紀一郎
Kaneko, Youichiro 金子雄一郎 350-0222 00633	G: 一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程 埼玉県坂戸市清水町43-2 理論経済学と認識論・認知科学との関係	070-5133-7749 ged8103@sru.hit-u.ac.jp 竹田茂夫・佐藤良一
Lee, Hao 李 皓 606-0904 00634	G: 京都大学大学院経済学研究科博士課程 京都市左京区松ヶ崎柳井田町3-2 セングフォーレスト I 進化経済学、ハイテック産業	075-752-3395 ibuki@amateru.econ.kyoto-u.ac.jp 出口弘・八木紀一郎
Matsui, Hiroyuki 松井啓之 606-8501 00641	京都大学大学院経済学研究科 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部 ゲーミングシミュレーション	075-753-3484 hmatsui@econ.kyoto-u.ac.jp 出口弘・吉田和男
Morita, Akihiko 森田明彦 279-0021 00629	G: 青山学院大学国際政治経済学部 浦安市富岡2-2-11-103 戦間期日本の金融史・マイクロファイナンス	047-381-4337 fwge1820@mb.infoweb.or.jp 八木紀一郎・吉田和男
Ogawa, Kazuhito 小川 一仁 550-0027 00635	G: 京都大学大学院経済学研究科修士課程 大阪市西区九条3-1-14 制度の経済学、比較制度分析、進化ゲーム理論	06-6581-0432 0-kazu@m3.people.or.jp 八木紀一郎・小山友介

会員氏名 〒 会員番号	所属 郵送先 部会等その他特記事項
Ohta, Takashi 太田 隆 227-0036 00630	情報経済研究所 横浜市青葉区奈良町 ロカタ・ウォルテラ方程式等
Seo, Takashi 瀬尾 崇 602-0842 00637	G: 京都大学大学院 京都市上京区河原町 マンション巻野402 マルクス経済学
Takagi, Ichiro 高木 一郎 862-0970 00631	九州東海大学応用 熊本市渡鹿9-1- 九州東海大学応用情 複雑系数理経済モデル
Terao, Takeru 寺尾 建 802-8577 00628	北九州大学経済学 北九州市小倉南区 北九州大学経済学部 マクロ経済学
Zaima, Keiko 在間 敬子 606-8224 00636	G: 京都大学大学院 京都市左京区北白川 パークハイム104 環境・エージェントペー

進化経済学会 平成 12 年度 予算
(平成 12 年 4 月 1 日 ~ 平成 13 年 3 月 31 日)

(単位: 円)

収入予算		支出予算	
概要	12 年度予算額	概要	12 年度予算額
前年度繰越費	1,000,000	大会費	1,200,000
正会員	5,500,000	進化学会開催出版費	1,300,000
(485 名)		事務補助費	200,000
院生	4,850,000	通補費	300,000
(110 名)		議件補助費	200,000
賛助団体	550,000	(理事会費等)	390,000
(2 団体)		印刷費	200,000
	100,000	送金手数料	500,000
			200,000
			200,000
			40,000
		小計	4,730,000
		平成 13 年度への繰越金	1,770,000
総計	6,500,000	総計	6,500,000

進化経済学会 平成 10 年度 決算 (平成 10 年 4 月 1 日 ~ 平成 11 年 3 月 31 日)

(単位: 円)

収入			支出		
概要	10 年度予算額	10 年度決算額	概要	10 年度予算額	10 年度決算額
前年度繰越費	952,144	952,144	大会費	1,200,000	978,000
(内訳)	5,180,000	3,465,000	(論集費)		798,000
正会員	4,540,000	3,070,000	通信費・印刷	720,000	333,720
(454 名)			送料		90,600
院生	490,000	295,000	進化学会費		1,361,692
(98 名)			書籍購入費	1,800,000	1,356,400
賛助団体	150,000	100,000	(出版買取り)		73,859
(3 団体)			事務用品費	100,000	373,240
書籍売却	0	41,000	通件費	300,000	287,000
刊行料	0	161	送金手数料	340,000	27,972
編集大会		372,080	人送金	0	354,750
余金		353,417	理事會費	600,000	120,000
		(大会時予稿上)	東大会	0	46,147
		集、書を含)	小計	5,060,000	4,046,980
雑収入		2,407	平成 11 年度への繰越金	1,072,144	1,139,229
総計	6,132,144	5,186,209	総計	6,132,144	5,186,209

上記の通り相違ないことを確認致しました。

平成 11 年 8 月 17 日

進化経済学会
監事

澤邊紀生
富森孝史

進化経済学会福岡オータム・コンファレンス 「進化経済学の可能性を探る」

今回は、「進化経済学の可能性を探る」というテーマの下で、2日間のスケジュールを組みました。会員多数の参加と活発な議論が行われることを期待しております。

9月9日 コンファレンス

このコンファレンスでは、ヴェブレン、コモンズなどに代表される「旧」制度派経済学の議論をとりあげ、その現代的意義を、より具体的には、世紀転換期の現時点においてかれらから何を学ぶことができるのかを再検討する。その上で、進化経済学が今後進むべき方向性とその可能性を探ろうとするものです。

会場：九州産業大学1号館（ツイン93）
9階中会議室

（JR 鹿児島本線「九州産業大学前」各駅停車列車しかとまりません）

（11時 理事会）

13時 受付開始

13時30分～15時30分

間宮陽介（京都大学）[ヴェブレンを中心に]

高哲男（九州大学）[コモンズを中心に]

井上義朗（千葉大学）[進化経済学の可能性と方向性をめぐって]

15時30分～15時50分 休憩

15時50分～16時35分 報告に対するコメント：平山朝治（筑波大）、宮本光晴（専修大）、磯谷明德（九州大）

16時35分～17時35分 討論

司会・進行：平野泰朗（福岡県立大）、八木紀一郎（京都大）

17時40分～ 懇親会

開催責任：進化経済学会福岡大会運営委員会

9月10日『ゲネシス進化経済学 方法としての進化』合評討論会

学会出版シリーズ ゲネシス進化経済学（シュプリンガー・フェアラーク東京近刊）をめぐって

この合評会では、まず批評討論者の方々に、各自の立場から見て、『方法としての進化』をどのように読んだか、また進化経済学が今後どのような方向に進むことができるのかを問題提起していただき、続いて『方法としての進化』への執筆者を加えた参加者全員による討論を行うことによって、進化経済学をめぐる議論になお一層の活性を図ろうとするものです。

会場：九州産業大学1号館（ツイン93）9階中会議室

10時～12時 『方法としての進化』批評

西部 忠（北海道大学）

澤邊紀生（九州大学）

和泉 潔（電子技術総合研究所）

12時～13時 昼食・懇談

13時～15時 自由討論

会場参加者、批判討論者、『方法としての進化』執筆者による自由討論

司会・進行：磯谷明德（九州大学）

Call for Paper 2000年4月26日

第5回進化経済学会福岡大会報告募集

開催日時：2001年3月30日(金)、31日(土)

開催場所：九州産業大学経済学部(福岡市東区松香台2-3-1)

テーマ：制度・進化と経済学の諸領域

これまでも「制度」と「進化」は多様な使われ方をされてきました。この状況はしばらく続くと思われます。今回も、それぞれの「制度」・「進化」概念に絡めて「経済学」を考えていただきます。多様な領域での報告を期待していますが、事務局での整理の都合上、以下のセッションを挙げておきます。これを参考にされ、下記の要領にしたがって応募して下さい。多数の応募をお待ちいたしております。

- | | |
|----------------------------------|------------|
| ①進化経済学の可能性を探る(オータム・コンファレンスからの継続) | |
| ②現代オーストリア学派と進化経済学 | ③会計学と制度 |
| ④制度進化への経済史からのアプローチ | ⑤技術革新と進化 |
| ⑥経済開発と制度・進化 | ⑦経済思想と進化 |
| ⑧進化ゲームとシミュレーション | ⑨慣習・規範の形成論 |
| ⑩制度進化と公共政策 | ⑪自由論題 |
| ⑫ポスター・セッション | |

応募要領：応募される方は、希望する(1)セッション区分番号と区分名、(2)アブストラクト(A4用紙2枚程度、キーワード3-5を抽出)添付の上、(3)9月3日(土)までに、進化経済学会福岡大会運営委員会宛にお送り下さい。なお、上記のセッション区分は「応募の参考」であって、セッション名は公募の受付の後、最終的に確定いたします。また、採否の決定は9月末日迄に行います。現在非会員であっても学会加入の意思があれば応募を受理いたします。

○郵送の場合：〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1 九州産業大学経済学部・進化経済学会福岡大会運営委員会宛 電話：092-673-5290(経済学部)、092-673-5217(岡村研究室)、092-673-5212(水口研究室) FAX：092-673-5919(経済学部)

○電子メールでの応募も可能にする予定ですが、こちらは今暫くお待ち下さい。開通したらあらためてお知らせ致します。

.....

進化経済学会福岡大会運営委員会：委員長・岡村東洋光(九州産業大学経済学部)okamura.t@ip.kyusan-u.ac.jp/ 副委員長・平野泰朗(福岡県立大学人間社会学部)hirano@fukuoka-pu.ac.jp/事務局長・水口雅夫(九州産業大学商学部)mizuguti@ip.kyusan-u.ac.jp/ オータム・コンファレンス担当・磯谷明德(九州大学経済学部)isogai@en.kyushu-u.ac.jp